

第 10 回「松江市一斉ノーマイカーウィーク」の実施結果について

1 趣旨

マイカー利用の抑制が公共交通の利用促進、渋滞緩和、CO2 排出量の削減に繋がることを市民一人ひとりに啓発し、日常的な移動にあたっての行動変化を促す

2 概要

(1) 内 容

市民、市内通勤者がマイカーを利用しない日を 1 日以上設けて実践する

(2) 実施期間

平成 30 年 10 月 15 日（月）～10 月 21 日（日）の 7 日間

(3) 今年度重点項目

- ア 10 周年を記念し特徴的なイベントを多数開催し、ノーマイカーの取り組みの趣旨を積極的に PR し、定着を図る
- イ 事業所への参加依頼は、一律的ではなく、公共交通への転換の可能性等を考慮した上で、地域や業種等を踏まえ、訪問する事業所をピックアップし、行う
- ウ 事業所への依頼に当たっては、依頼文のみでなく、事業所から要望の多かった公共交通に関する情報（路線情報、利用手引、啓発チラシ等）を活用する
- エ この取り組みを広く市民に知っていただき活性化を図るため、広報活動を強化する
- オ 事後の検証を行い、来年度以降の取り組みに活かしていく

3 実施結果

(1) 実施計画の検証

分類	実施方針	実施内容	評価指標	目標値 () は前年実績	実績値
参加促進 キャンペーン	事業所・通勤者 への働きかけ	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所への訪問 (30 事業所) ・経済団体、労働団体との連携 ・松江バルとの連携 	参加事業所数	160 事業所 (151)	136 事業所
		<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通の利用方法やお得な情報等を掲載した冊子、啓発パンフレットの配布 	参加者数	4,100 人以上 (4,100)	3,900 人
	ファミリー層への 働きかけ	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通の旅イベント(土日祝日バス小学生以下無料乗車) ・バスまつり、駅サイトまつりの周知 	公共交通の旅イベント 利用券数	400 人 (34)	441 人
広報活動	イベント開催	<ul style="list-style-type: none"> ・イオン松江 SC で「バス・鉄道ミニフェスタ」「チラシ配布」「連合島根主催によるバス乗り方教室」を開催 (10/14) 	CO2 削減量	18.0 トン (17.9)	17.4 トン
	子供向けバス紙芝居の制作・上演	<ul style="list-style-type: none"> ・島大、高専学生が制作し、イオンイベント (10/14)、バスまつり (10/20) にて上演 			
	バスマスク掲出	<ul style="list-style-type: none"> ・路線バスへの掲出 (10 台分) 			
	のぼり旗掲出	<ul style="list-style-type: none"> ・宍道湖大橋南詰への掲出 			

(2) まとめ

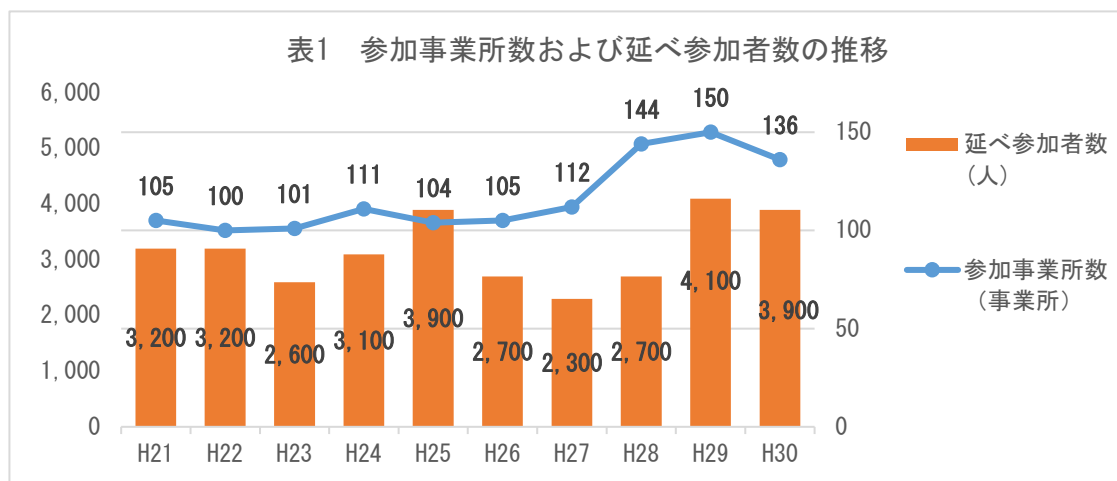
ア 参加状況

① 参加事業所数

- ・136 事業所が参加した（過去10年間で3番目）

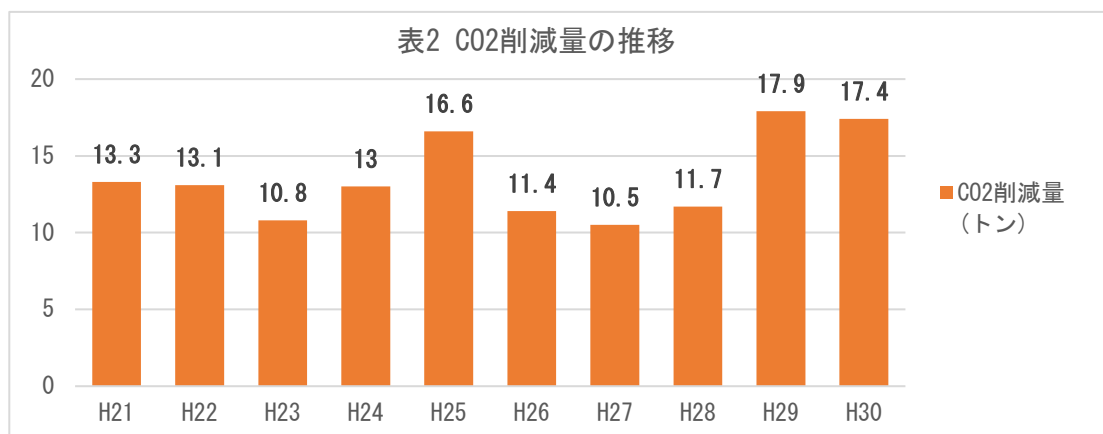
②参加者数

- ・延べ3,900名がノーマイカーの取り組みを行った



イ CO2削減量

期間中に参加者がクルマから他の交通手段へ転換したことにより、約17.4トンのCO2排出量を削減した（国土交通省基準値より推計）



算定式

$$\frac{\text{ガソリン1㍓あたりCO2排出量} \times \text{期間中の移動距離(通勤時、業務時)}}{\text{乗用車走行燃費}} = \text{期間中のCO2削減量}$$

ガソリン1㍓あたりCO2排出量=2.3kg（国土交通省基準値）

通勤距離（往復）=17.8km

（H11 中海・宍道湖都市圏PT調査 松江都市圏の1日あたり通勤距離）

乗用車走行燃費=9.7km/㍓（国土交通省基準値）

出典：国土交通省エコ通勤ポータルサイト

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/ecommuters/>

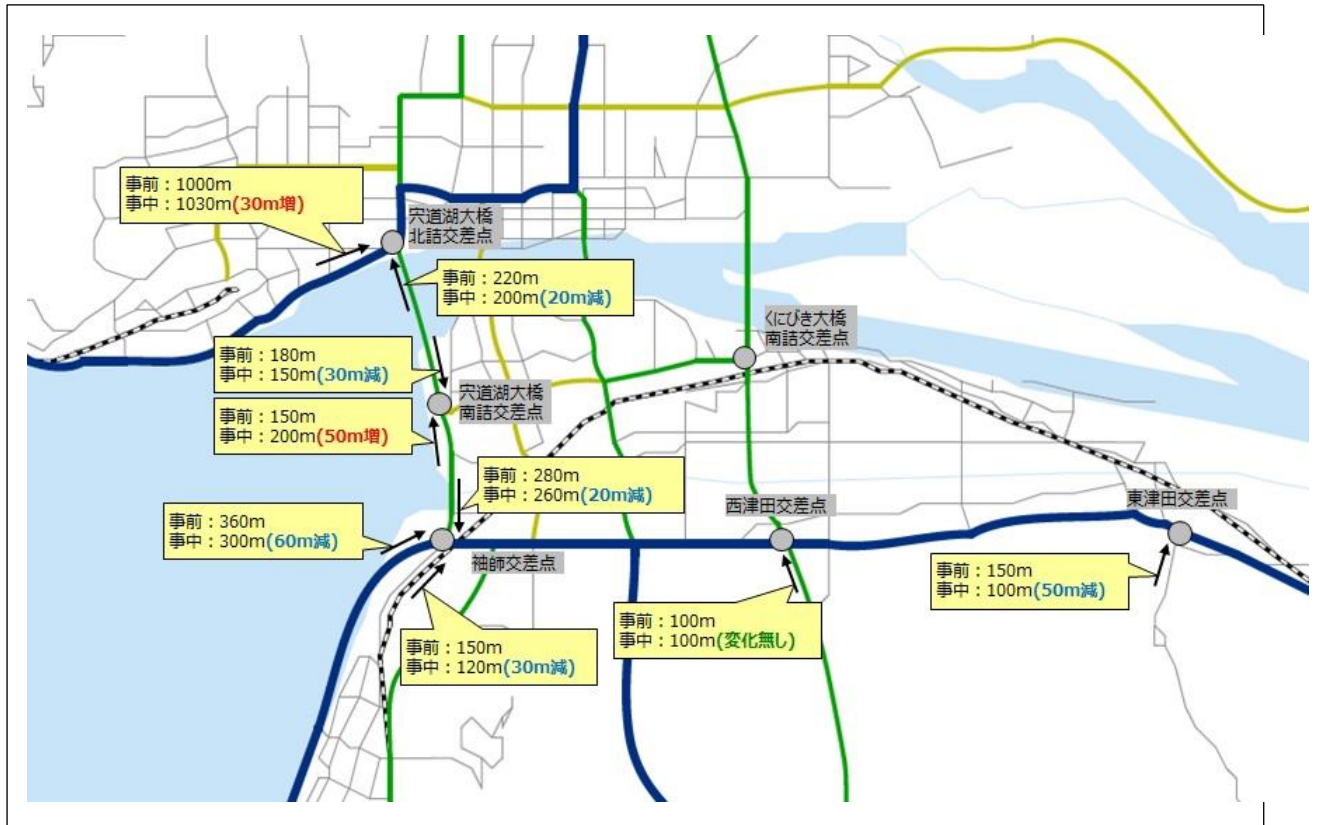
ウ 渋滞長

- 「松江市一斉ノーマイカーウィーク」の施策の効果を把握するため、主要交差点 6 地点において、以下のとおり渋滞長調査を実施した

実施日 期間前 9月26日 7時～9時 天候：薄曇

期間中 10月16日 7時～9時 天候：曇

- 最大渋滞長（100m 以上の渋滞が発生した交差点）を比較すると、9 方向のうち 6 方向の最大渋滞長が減少しており、ノーマイカーウィークの施策によって、渋滞が緩和された



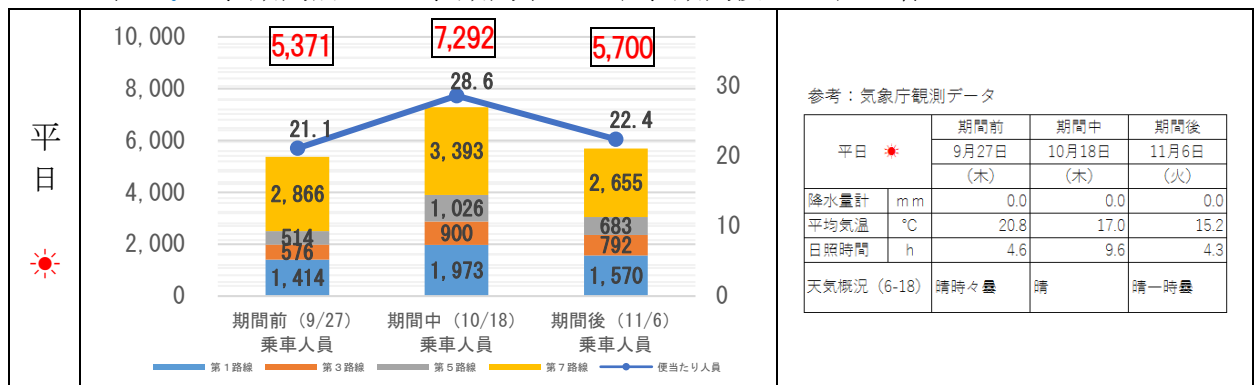
エ バス利用者数

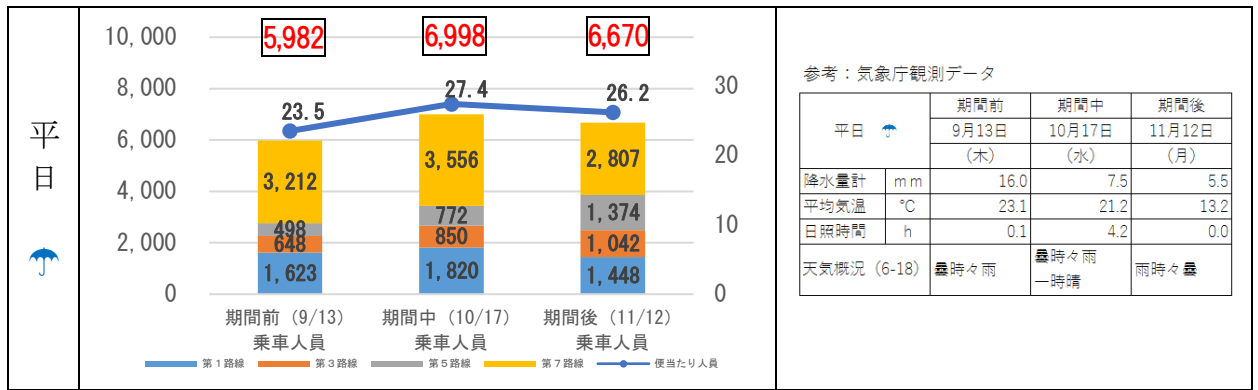
市営バス主要 4 路線の利用者数をみると、ノーマイカーウィーク期間前よりも期間中が増加した。また、平日では、期間後も増加した

① 平日

平日☀は、期間前と比べ、期間中 35.8%、期間後 6.1%の増加

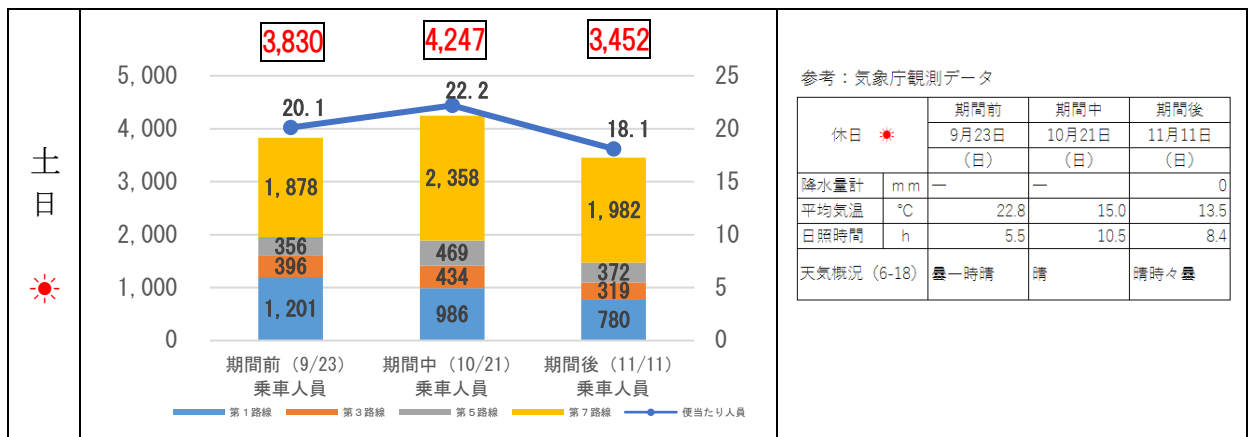
平日☔は、期間前と比べ、期間中 17.0%、期間後 11.5%の増加





② 土・日曜日

土日☀は、期間前と比べ、期間中 11.5%増加したが、期間後は9.9%の減少
 土日☔は、期間中に雨天の該当日がなく、比較を行っていない



4 事業所から寄せられた主な意見

ア 公共交通機関に関すること

- ① マイカー利用に比べて時間はかかるものの、体への負担は少ないので、今後も可能な限り利用したい
- ② バスの便数が少なく、また早い時間に最終便になるため、公共交通を利用したくても使いづらい
- ③ バス利用に関する情報(ルート・運賃・時刻)が少なく、バスに乗ってみようと思いつかない。市内の会社に上記情報案内チラシを配布したらどうか
- ④ バス等公共交通機関の乗車時には、他の方が座席にきちんと座れるように荷物を膝の上に置くなど配慮が必要

イ 渋滞緩和に関すること

- ① 朝の通勤時の車の渋滞が少ないと感じた
- ② 徒歩での通勤は、朝、渋滞の時間を考えることなく自宅を出られる

ウ 健康増進に関すること

- ① 徒歩移動が増えて運動できてよかった
- ② 車を使わなくても、目的が達成されるのであれば自分の体も温まり、心地よい疲れがあった

- ③ 普段と違い、熟睡することができたため翌日もスッキリした気持ちで目覚めることができ良かった
- ④ 通勤は転換できなかったが、休日は気分転換にもなるし、運動不足解消にもつながると感じた。今後、通勤は難しいが、休日は取り入れていきたい

エ 街並みや景色などの気づきに関すること

- ① 普段歩かない道等でいろいろな風景に出会うことができた
- ② 帰宅途中、宍道湖の夕景を撮るなど、風景を堪能できた

オ 事業所内に関すること

- ① なかなか本腰を入れての活動となると、天候状況や繁忙期にさえぎられることが多く、また業種としては自家用車無しでは何も成す術もない。微力となりますができることはやりたいと思っています
- ② 現在、車・バイクで通勤している職員については、ほとんどが公共交通機関や徒歩での通勤が事実上不可能であったり、業務で車を使用する者となっている

カ その他

- ① 時間を気にしながら、スケジュールを立て買い物ができるため、充実した休日を過ごせた
- ② 子供が長い距離を自転車で行けるようになったことを発見できた
- ③ 駐車場の心配をせずに、整行列を楽しむことができた
- ④ 来年も参加したいと思います
- ⑤ ノーマイカーウィークに松江中心部の飲食店とタイアップしたイベントをしてもらいたい。職場で飲み会を実施すれば、マイカーの利用を控えることになるため
- ⑥ 松江バルと同じ日程でノーマイカーウィークを企画してほしいと思います
- ⑦ 期間を長くしてはどうか
- ⑧ そもそも駅・バス停まで距離があったり、お子さんの送迎といったやむを得ない事情の方が車通勤をされています。また、便数の少なさ（朝・夜・土日祝）が我々のような流通サービス業で働く者にとっては、不便さを助長しています。この辺りについての告知が少なく、一般的な会社中心の啓発内容では従業員に発信しづらさがございますので、ご検討いただけたらと存じます
- ⑨ 歩道が狭い上、荒れており、歩行しにくい。特に車いすや自転車ではスムーズに通行できない